

高知県感染症発生動向調査（週報）

2020年 第47週（11月16日～11月22日）

インフルエンザ予防接種はお早めに

季節性インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。ワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、およそ2週間かかると言われていています。かかりつけ医等医療機関にご相談のうえ、予防対策の1つとして予防接種をご検討下さい。

★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患5疾患）

↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
手足口病	↗	1.25	安芸で急増、県全域、高知市、中央東で増加し、高知市では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	→	1.25	安芸で急減していますが、幡多、須崎で急増、中央東で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↗	0.86	中央東、中央西で急減していますが、幡多、須崎で急増、県全域、高知市で増加しています。
ヘルパンギーナ	↗	0.71	中央東、安芸で急増、県全域、幡多で増加しています。
水痘	↗	0.36	中央東、幡多で急減、須崎で減少していますが、中央西、安芸で急増、県全域で増加し、中央西、須崎では注意報値を超えています。

★地域別感染症発生状況



【感染症予防の基本】

咳やくしゃみの飛沫による感染症はたくさんあります。電車や職場、学校など人が集まる場所では「咳エチケット」で感染対策しましょう。

＜正しいマスクの着用＞

- ①鼻と口の両方を確実に覆う
- ②ゴムひもを耳にかける
- ③隙間がないよう鼻まで覆う



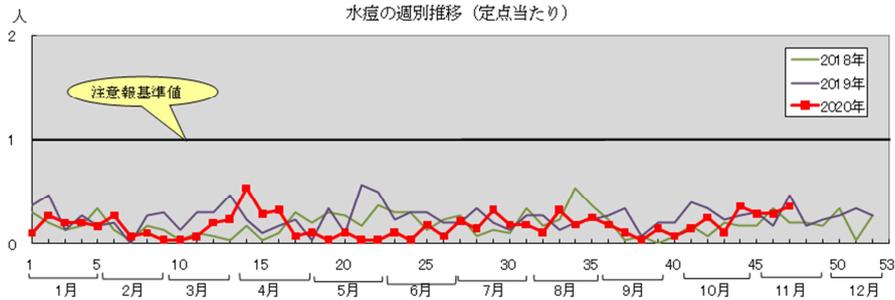
★県内で注目すべき感染症（注意点や予防方法）

○水痘（みずぼうそう）に気を付けて！

水痘は、水痘帯状疱疹ウイルスによる感染症で、一般には「みずぼうそう」と呼ばれています。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛まつ感染・空気感染、水疱や粘膜の排出物に接触することによる接触感染により感染します。

潜伏期間は2週間程度です。通常は、軽症で終生免疫（一度の感染で生涯、その感染症にはかからない）を得ることが大半ですが、成人では髄膜炎や脳炎などの合併症の頻度が高くなるなど重症化することもあります。また、ウイルスが治癒後、体内に潜伏しており、何年も経て「帯状疱疹」として再発することもあります。



<予防方法>

有効な予防対策は予防接種です。2014年10月1日から水痘ワクチンが定期接種となっています。

また、水痘患者に接触した場合でも、3日以内にワクチンを接種すれば発病を予防したり、症状を軽減することが期待できるとされています。

【学校感染症】

水痘（みずぼうそう）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「すべての発疹が痂皮化するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないとして規定されています。

ダニの感染症（SFTS・日本紅斑熱・つつが虫病）に注意！

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」や「日本紅斑熱」は、屋外に生息するダニの一種で比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

また、「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。（全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません）。

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

【ダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- ダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生環境研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

★全数把握感染症

	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
5 類	梅 毒	1	28	40 歳代 女	高知市

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
安 芸	田野病院小児科	アデノウイルス咽頭炎 1 例 (9 ヶ月女)
中央東	おひさまこどもクリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (1 歳女)
	JA 高知病院小児科	ヘルパンギーナ 1 例 (1 歳 7 ヶ月女)
高知市	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎 1 例 (17 歳)
	福井小児科・内科・循環器科	帯状疱疹 1 例 (13 歳男) ヘルパンギーナ 3 例 手足口病 5 例
中央西	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (1 歳女)
須 崎	もりはた小児科	滲出性扁桃炎 1 例 (2 歳女) 水痘 1 例 (9 歳男：ワクチン 1 回済み) 46 週：カンピロバクター腸炎 1 例 (3 歳女)

★県外で注目すべき感染症

○風しん、先天性風しん症候群を予防しましょう

2020 年第 1 週～第 46 週の累積報告数は 97 人 (男性 69 人、女性 28 人) となっており、そのうち 87% (84 人) が成人で、25 歳から 50 歳代の男性が中心となっています。



妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、生まれてくる赤ちゃんにも感染し「先天性風しん症候群」という病気にかかってしまうことがあります。

風しんの予防にはワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが有効です。風しんに対する十分な免疫があるかどうかは、抗体検査で確認することができます。

赤ちゃんが生まれつきの病気にならないよう家族みんなで風しん抗体検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けることをご検討ください。

【無料の風しんの抗体検査について】

現在県内では 2 つの事業で「風しん」に対して十分な免疫があるかどうか確認するため無料の抗体検査を実施しています。

対象者：高知県内在住（住所を有する者）の妊娠を希望する女性

- ・妊娠を希望する女性または風しんの抗体価が低い妊婦の配偶者など（生活空間を同一にする頻度が高い方。婚姻の届けを出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある方を含む）
- ・風しんの追加的対策として、1972 年（昭和 47）年 4 月 2 日から 1979 年（昭和 54）年 4 月 1 日生まれの男性について、一括してクーポン券を配布
1962（昭和 37）年 4 月 2 日から 1972（昭和 47）年 4 月 1 日生まれの男性については、本人がクーポン券を希望する場合において、住所地の市町村が個別に発行

検査受付：実施医療機関ごとに異なりますので、受診を希望する医療機関に事前にお問い合わせください（住所を証明する書類（運転免許証や健康保険被保険者証等）を持参ください）

検査結果：検査後 1～2 週間後に郵送もしくは再来院にてお知らせいたします

- 厚生労働省「風しんの追加対策について」（風しん抗体検査・風しん第5期定期接種受託医療機関）
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_00001.html
- 無料の風しん抗体検査の実施及び抗体検査の委託を受けた医療機関（高知県健康対策課ホームページ）
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130401/2020051200219.html>
- 風しんの追加的対策 Q&A（対象者向け） <https://www.mhlw.go.jp/content/000493833.pdf>
- 風しん Q&A2018年1月30日改訂版(国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>
- 風しんについて（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/

○高知県の新型コロナウイルス感染症情報

高知県庁ホームページ：<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>

高知県保健所別新型コロナウイルス感染症報告者数									
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	総計
10月	26	月							
	27	火		143					1
	28	水			144				1
	29	木							
	30	金							
	31	土							
11月	1	日							
	2	月							
	3	火							
	4	水							
	5	木							
	6	金							
	7	土							
	8	日							
	9	月							
	10	火							
	11	水							
	12	木							
	13	金							
	14	土							
15	日								
16	月								
17	火								
18	水								
19	木								
20	金								
21	土			145	146			2	
22	日								
総計			2	12	99	9	3	21	146

総計は2月28日以降の報告者数
数字は症例番号 女性は斜体

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2020年11月24日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。

★高知県感染症情報
疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報(57定点医療機関)

定点名	保健所 疾病名	第47週 令和2年11月16日(月)～令和2年11月22日(日)							高知県衛生環境研究所			
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(46週)	高知県(47週末累計) R1/12/30～R2/11/22	全国(46週末累計) R1/12/30～R2/11/15
インフルエンザ	インフルエンザ							()	()	23 ()	7,097 (147.85)	563,067 (114.17)
小児科	咽頭結膜熱						1	1 (0.04)	2 (0.07)	657 (0.21)	299 (9.97)	29,342 (9.31)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			19		1	4	24 (0.86)	14 (0.50)	2,275 (0.72)	1,484 (49.47)	184,643 (58.56)
	感染性胃腸炎		6	17	1	1	10	35 (1.25)	30 (1.07)	6,567 (2.08)	2,362 (78.73)	365,460 (115.91)
	水痘	1	1	2	4	2		10 (0.36)	8 (0.29)	637 (0.20)	235 (7.83)	27,516 (8.73)
	手足口病	1	4	23			7	35 (1.25)	26 (0.93)	326 (0.10)	832 (27.73)	16,116 (5.11)
	伝染性紅斑							()	1 (0.04)	44 (0.01)	240 (8.00)	17,993 (5.71)
	突発性発疹	1	2	2	2	1	1	9 (0.32)	9 (0.32)	1,315 (0.42)	493 (16.43)	57,547 (18.25)
	ヘルパンギーナ	1	4	6			9	20 (0.71)	12 (0.43)	493 (0.16)	298 (9.93)	23,094 (7.32)
	流行性耳下腺炎		2	1				3 (0.11)	()	150 (0.05)	95 (3.17)	7,181 (2.28)
	RSウイルス感染症							()	()	325 (0.10)	176 (5.87)	15,646 (4.96)
眼科	急性出血性結膜炎							()	()	2 ()	()	164 (0.24)
	流行性角結膜炎							()	()	171 (0.25)	14 (4.67)	8,077 (11.64)
基幹	細菌性髄膜炎							()	()	5 (0.01)	2 (0.25)	359 (0.75)
	無菌性髄膜炎			1				1 (0.13)	()	8 (0.02)	2 (0.25)	411 (0.86)
	マイコプラズマ肺炎			1				1 (0.13)	1 (0.13)	32 (0.07)	95 (11.88)	3,364 (7.04)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							()	1 (0.13)	1 ()	1 (0.13)	56 (0.12)
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							()	()	1 ()	7 (0.88)	235 (0.49)
計	4	19	72	7	5	32	139		13,032	13,732	1,320,271	
小児科定点当たり人数	(2.00)	(2.72)	(7.78)	(2.33)	(2.50)	(6.40)	(4.90)			(364.98)		
前週 (小児科定点当たり人数)	(1.50)	(1.72)	(6.67)	(0.66)	(1.50)	(4.40)		104 (3.65)				

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(57定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	保健所 疾病名	第47週							高知県衛生環境研究所			
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(46週)	高知県(47週末累計) R1/12/30～R2/11/22	全国(46週末累計) R1/12/30～R2/11/15
インフルエンザ	インフルエンザ										147.85	114.17
小児科	咽頭結膜熱						0.20	0.04	0.07	0.21	9.97	9.31
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2.11		0.50	0.80	0.86	0.50	0.72	49.47	58.56
	感染性胃腸炎		0.86	1.89	0.33	0.50	2.00	1.25	1.07	2.08	78.73	115.91
	水痘	0.50	0.14	0.22	1.33	1.00		0.36	0.29	0.20	7.83	8.73
	手足口病	0.50	0.57	2.56			1.40	1.25	0.93	0.10	27.73	5.11
	伝染性紅斑								0.04	0.01	8.00	5.71
	突発性発疹	0.50	0.29	0.22	0.67	0.50	0.20	0.32	0.32	0.42	16.43	18.25
	ヘルパンギーナ	0.50	0.57	0.67			1.80	0.71	0.43	0.16	9.93	7.32
	流行性耳下腺炎		0.29	0.11				0.11		0.05	3.17	2.28
	RSウイルス感染症									0.10	5.87	4.96
眼科	急性出血性結膜炎											0.24
	流行性角結膜炎									0.25	4.67	11.64
基幹	細菌性髄膜炎									0.01	0.25	0.75
	無菌性髄膜炎			0.20				0.13		0.02	0.25	0.86
	マイコプラズマ肺炎			0.20				0.13	0.13	0.07	11.88	7.04
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								0.13		0.13	0.12
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)										0.88	0.49
計	(小児科定点当たり人数)	2.00	2.72	7.78	2.33	2.50	6.40	4.90			364.98	
前週	(小児科定点当たり人数)	1.50	1.72	6.67	0.66	1.50	4.40		3.65			

病別年次報告数推移グラフ(インフルエンザ定点・小児科定点・眼科定点)

高知県感染症情報 疾病別年次報告数推移(2020年 第47週)

